

訪問ガイド **2026**

タイタニック博物館

ベルファスト · から 32.17€

https://titanicbelfast.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

工業工房から記念神殿へ

GOOGLE 4.5 ★★★★☆ 43 844 レビュー

TIQETS 4.7 ★★★★★ 1 584 レビュー

20世紀初頭、ベルファストは世界造船業の中心地であった。 ベルファスト湾の岸辺では、ハーランド＆ウルフ造船所が大西洋を揺るがす海の巨人たちを生み出していた。 ここ、歴史的な建造台の上で、RMSタイタニック号は1912年の悲劇的な運命を前にして誕生しました。 造船業の衰退後、長年放置されていたこのサイトは、北アイルランドの労働者および産業の回復力の象徴となった。 このポストインダストリアル地区の変革は、2001年に「タイタニック・クォーター」の設立とともに始まった。 1億2,000万ユーロという巨額の投資により、185ヘクタールの土地が再生され、廃墟だったものが現代の文化的アイコンへと変貌を遂げた。 目標は明確であった：この地域が再興する中で、国際的な新たな世代の訪問者を惹きつける一方で、客船を建設した数千人の労働者の記憶を称えることである。 2012年3月31日に開館し、沈没からわずか数週間後にその100周年を迎えたこの博物館は、歴史的な転換点となった。 この日付は偶然に選ばれたものではなく、タイタニック号に関する世界的な祝典のピークと一致していた。 エリック・クーネによって設計されたこの建物は、今日では造船所の輝かしい過去とベルファストの観光的未来を結ぶ重要な建築的証言としてそびえ立っている。 単なる展示を超えて、この博物館は北アイルランドの「ジャイアント」精神を体現しています。 彼は船の歴史だけでなく、その創り手たちの物語も語っている。エンジニアから大工まで、共通の夢によって結ばれた彼らの物語である。 これらの場所を訪れるとき、私たちは単に船を見ているだけではない。産業的な苦痛を遺産としての誇りに変えてきた都市の魂に触れているのである。

体験

大アトリウムの敷居を跨ぐと、その壮大なスケールがあなたを圧倒します。 自然光が巨大なガラス窓を通じて空間を照らし、鋼鉄の構造体が直接客船の骨組みを想起させる。 雰囲気は荘厳でありながら没入感に満ち、訪れ人を時間を超えた旅へと導き、建築の細部一つひとつが後期ビクトリア朝の偉大さを想起させる。 体験は、完全な没入感から始まります。 インタラクティブなギャラリーは、単に展示物を陳列するだけでなく、建設現場の音響的・視覚的な雰囲気を再現します。 ハンマーの音に耳を傾け、ボイラーから立ち上る煙の匂いを肌で感じながら、打ち込まれる一つひとつのリベットが背負う人間的な重みと意義を理解できる。 技術的な巧みさと悲劇的な運命の哀愁の間を揺れ動く、胸に迫る散歩である。それは、丁寧で敬意を込めた舞台美術によって、触れられるほどに現実味を帯びている。



訪問の準備

実用的な情報

住所
Queen Island, Belfast · 市街地から路線バスまたは車での直接アクセス（101/102系統）。

営業時間
季節により営業時間が変動します。1月に年間休館となる場合が多いため、出発前にご確認ください。

料金
SS Nomadicを含むプランと含まないプランがあります。{promo}。

所要時間
The Titanic Experienceには最低2〜3時間かかります。プランに含まれる場合、SS Nomadicの見学にさらに30分追加されます。

写真撮影
すべてのギャラリーでフラッシュなしでの撮影が可能です。鋼鉄とガラスの外観やSlipsからの眺めを記録するのに最適です。

対象者
6歳以上ならご参加いただけます。建物は広大で寒くなることがあるため、上着をお持ちください。エレベーターがあるため、運動量は適度です。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

メトロ
: Titanic — 2 min à pied
York Street Train Station (8 min) · Lanyon Place Station (10 min)

バス
: Titanic — 2 min à pied
ヨーク・ストリート駅 (11 min) · ラニオン・プレイス駅 (14 min)

車
ヨーク・ストリート駅 (6 min) · ラニオン・プレイス駅 (8 min)

自転車
ヨーク・ストリート駅 (6 min) · ラニオン・プレイス駅 (9 min)

LOCALISATION

Où se trouve タイタニック博物館 ?



📍 1 Olympic Way Queen's Road — BT3 9EP ベルファスト

🌐 54°36.487′ N, 5°54.597′ O

組織

訪問の構造を理解する

0階（1階） - グランドアトリウム

ここから体験が始まります。広々として明るい空間には、受付サービスと公式ショップが設けられています。また、登頂前に軽食をとるのに最適なファストフードスペース「ザ・パントリー」も利用できます。開放的な建築構造により、博物館の各セクションを一望できる最初の眺めを楽しむことができます。

中層 - イマーシブ・ギャラリー

博物館の中心部は、パノラマ式エレベーターで結ばれた複数の階に広がっています。これらの階には、タイタニック号の設計から沈没までの生涯を年代順にたどる24のテーマ別展示室が設けられています。インタラクティブな再現展示が主要な空間を占め、造船の重要な段階や初航海の旅を通じて訪問者を導きます。

テラスと屋外エリア

屋内が主な焦点であるものの、屋外のテラスからはかつての曳船用桟橋（カイル）を眺める絶好の視点を提供しています。サムソン＆ゴリアスクレーンをその歴史的な文脈の中で観察するには最適な場所です。ベルファスト・ラフとの視覚的なつながりは、博物館とその元の港湾環境との結びつきを強化しています。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

エレベーターがあり非常にアクセスしやすいですが、一部の再現展示エリアには段差があるため注意が必要です。

ファミリー向け

6歳以上におすすめ。歩行距離は長めですが、エレベーターを活用すれば問題なく回れます。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

イマーシブコースの見どころ

01 インタラクティブ・ギャラリー

タイタニック・エクスペリエンス（メインギャラリー）

このセクションは博物館の物語的な核心をなしており、9つのテーマ別ギャラリーに分かれています。タッチスクリーンや音響再現を通じて、船の建造過程を忠実に追体験できます。訪問者は正確な技術データを通じて、作業員たちの任務の規模を理解することができます。

> 💡 他の博物館とは異なり、ここでは倫理的な選択として沈没船体は展示されておらず、これは沈没船体の発見者であるロバート・バラードによって承認されています。

02 設計室

タイタニック号の元設計図

客船の初期建築詳細を示す希少で貴重な資料である。この設計図は、このような巨大な機械を建造するために必要なエンジニアリングの精密さを物語っている。また、沈没事故において決定的な役割を果たした防水隔壁の複雑さを視覚的に把握できる。

> 💡 この種の原本資料は、船舶設計に関する神話を解明し、ハーランド＆ウルフ社の設計部門による綿密な作業を示している。

03 進水式会場

進水式ノート

1912年のタイタニック号の進水式で使用されたノートの原本です。この個人的な物品は、当日の出来事への親密な窓を提供します。それは、当時の造船所が厳格に遵守したプロトコルとイベントの荘厳さを示しています。

> 💡 このノートは、観客を海運史の決定的な瞬間に直接結びつけるため、最も感動的な遺物の一つとしてしばしば引用されています。

04 後援者室

ピリー卿の時計

ハーランド＆ウルフ社の社長ウィリアム・ジェームズ・ピリー卿の所有するこの時計は、イギリスの産業と貴族階級との結びつきを象徴しています。タイタニック号建造における財務面および政治面の側面を表しており、船を期限内に引き渡すようかけられた圧力の証でもあります。

> 💡 ピリー卿は極めて厳しい性格で知られており、この私物時計はそのプロジェクトの細部に至るまで彼が直接関与していたことを示しています。

05 旅の間

最後の晩餐のメニュー

一等船客に提供された最後の食事のメニューを忠実に再現したものです。この料理の詳細は、悲劇の前にあった夜の平常さを思い起こさせ、その惨事を人間味のあるものにしています。来訪者は当時の祝祭的で無憂な雰囲気に身を置くことができます。

> 💡 このメニューの展示は、しばしば来訪者の感情を揺さぶります。彼らは突然、災害直前の瞬間の平凡さに気づくのです。

06 技術室

機関室の復元

タイタニック号の機械の騒々しく混沌とした雰囲気を再現した没入型エリア。ピストンの音と模擬された熱気は、船の圧倒的なパワーを体感させるものです。ここでは、航海中の機関士たちが費やした膨大な肉体労働を理解することができます。

> 💡 この部屋は、機械部門の作業員が常に直面していた危険性を浮き彫りにするため、ツアーの中で最も強烈な体験としてしばしば説明されています。

07 外観 / テラス

スリップ（ドック）の眺め

博物館の窓やテラスからは、タイタニック号が組み立てられたかつてのスリップが見えます。この歴史的な場所への直接的な視界は、訪問を地理的な現実の中に根付かせます。曳航レールが残した痕跡はまだ見られ、過去の静かな証人となっています。

> 💡 今日では空っぽのスリップを見ることは、かつてそこにあった巨大な船のイメージと強い対比を生み出し、訪問の感情的なインパクトを強めます。

08 隣接する桟橋

SSノマディックへのアクセス

多くのチケットに含まれており、この1911年建造の小型フェリーへのアクセスは、独自の補完的な体験を提供します。タイタニック号の難破を生き延びたホワイトスターライン船団の唯一の残存船です。狭いキャビンを見学することで、乗組員の日常を理解することができます。

> 💡 SSノマディックのオリジナルの木製内装に触れることは、歴史との直接的な触覚的つながりを生み出し、博物館の訪問者にとって希少な体験となります。

アドバイス

ベルファストでの滞在を最適化する

タイミング

出発前に必ず季節ごとの開館時間を確認してください。博物館は1月に閉館していることが多いです。SSノマディックを含む完全な見学には、最低でも2時間から3時間を確保してください。

チケット

行列を避けるため、特に繁忙期には事前にオンラインで予約してください。「SS Nomadic」を含むプレミアムプランと個別チケットを比較し、予算を最適化しましょう。

見学ルート

ベルファストで多くの歩行を予定している場合は、エネルギーを節約するために階段ではなくエレベーターを賢く利用してください。年表に沿って順を追うため、まず地下のギャラリーから見学を開始してください。

写真

建物に入る前に外側を撮影し、鋼鉄とガラスでできたファサードおよびサムソンとゴリアスクレーンの眺めを捉えてください。すべての屋内ギャラリーではフラッシュなしでの撮影が許可されています。

休憩

The GalleyまたはThe Pantryでのコーヒータイムとして30分を追加し、ツアーの終わりを急がないようにしてください。これにより、リラクゼーションスペースから埠頭の景色を楽しむこともできます。

子ども

当館は6歳以上の方がご入館いただけますが、建物は広大です。お子様が歩行に耐えられるようご確認のうえ、子ども向けマルチメディアガイドを活用し、興味を維持してください。

オーディオガイド

マルチメディアガイド（5ポンド）をレンタルし、貴重な物語の層を追加しましょう。フランス語で利用可能で、完全なツアーのコストなしに半導遊的な体験を提供し、歴史を深く掘り下げるのに最適です。

快適さ

建物内が特に冬場は冷え込む可能性があるため、追加の衣類を用意してください。各階や展示室の間を頻繁に移動するため、歩きやすい靴をおすすめします。

よくある質問

よくある質問

事前予約は必須ですか？

はい、特に繁忙期（7月〜8月）には行列を避けるためオンライン予約が強く推奨されています。休暇期間外の平日であれば窓口で購入することも可能ですが、平均して30〜45分の待ち時間を見込んでください。希望する時間帯を確保するために早めの予約をおすすめします。

チケットは簡単にキャンセルできますか？

このチケットは予約確定後、キャンセル・返金不可です。支払い前に日付、時間帯、参加人数をよくご確認ください。その後変更はできません。

現在プロモーションはありますか？

公式サイトではグループ向けやセットチケット向けの季節限定オファーが表示されることがあります。'Offers'セクションを定期的にチェックしてください。ここに表示されている料金は目安であり、最終価格は予約時に確認してください。

チケットには常に**SS Nomadic**が含まれますか？

いいえ、プランによって異なります。標準の'Titanic Experience'には必ずしも含まれていませんが、'Premium'プランには含まれています。購入前にチケットの内容をよく確認し、現地での予期しない追加費用を避けましょう。

完全な見学にはどのくらい時間がかかりますか？

The Titanic Experienceのみなら2〜3時間を見込んでください。SS Nomadicが含まれる場合は30分〜1時間を追加してください。ガイド付きDiscovery Tourの場合は最大4時間かかります。コースに含まれるカフェやショップの時間も考慮してください。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

意図的な残骸の不在

倫理的理由から、この博物館はタイタニック号の沈没船体から直接回収された遺物を一切展示していません。この決定は、1985年に遺跡を発見した著名な海洋学者ロバート・バラードと協議の上で下されました。このアプローチは、遺跡を宝の山ではなく追悼の場として扱うことで、犠牲者たちの記憶を尊重しています。

リノベーションのコスト

博物館の建設には**1億2,000**万ユーロという莫大な投資が必要であり、これは衰退しつつある後工業地帯を再生させることを目的としたものです。この野心的なプロジェクトにより、放棄されていた18.5ヘクタールの土地が主要な文化センターへと変貌を遂げ、現在では年間何十万人もの訪問者を惹きつけています。

鋼鉄の巨人たち

サムソンとゴリアスのクレーンは博物館から見える位置にあり、ベルファスト・ラウの風景を今もなお支配しています。歴史的記念物として指定されており、ベルファストにおける造船業の黄金時代最後の証人です。その巨大なシルエットは博物館のモダンさとの対比を生み、昨日と今日の間で力強い視覚的対話を創り出しています。

百年記念へのオマージュ

2012年3月31日の開館式は、沈没の百周年と一致するように戦略的に選ばれました。この日付は、タイタニック号を巡る世界的な祝祭活動の頂点に位置し、博物館が1912年の悲劇を世界が記憶しているまさにその瞬間に国際的な注目を集めることを可能にしました。

博物館周辺

タイタニック地区は、単なる博物館の見どころ以上の場所です。向かい側には、ホワイトスターライン船団の最後の生き残りである**SS Nomadic**があり、より本格的な体験を提供します。見事な休憩のために、**The Galley Café**では歴史的な埠頭を一望できる絶景が広がっており、訪問の感動をゆっくりと味わうのに最適です。ショッピング愛好家には、すぐ近くにある活気ある商業施設である**Titanic Quarter Shopping**がおすすめです。最後に、有名なクレーン「サムソン」と「ゴリアス」が風景を支配し、ベルファストラグーンに沈む夕日の際には、素晴らしい写真撮影の機会を提供します。

タイタニック博物館を去ることは、写真の思い出よりもはるかに多くのものを心に刻んで持ち帰ることである。 この唯一無二の場所で、鋼鉄と歴史が出会う瞬間の生々しい感情を記憶に刻み込むことである。 海事に情熱を傾けている方でも、ベルファストの魂にただ好奇心を抱いている方でも、この訪問は人々の心に深く刻まれます。 北アイルランドの生きた歴史に触れるこの機会をお見逃しなく。